

お茶会

お茶会について紹介します

なかなかお茶会ができないですが、開催できるようになったら、

是非いらしてください！

もちもの

- ・ 懐紙（かいし） ・ 菓子切り
お菓子を頂くときに使います。
- ・ 扇子（せんす）
挨拶や拝見をする際に使います。
- ・ 袱紗（ふくさ）
お道具を清めたりのせたりします。
- ・ 古帛紗（こぶくさ）
濃茶を飲む時、お道具の拝見で用います。
- ・ 数寄屋袋
上記のお道具を入れるための袋です。



服装のポイント（男女共通）

- ◆ アクセサリー（時計、指輪など）をつけない
お道具を傷つけないため
- ◆ 白い靴下または白い足袋を着用
外の汚れを茶席に持ち込まないため

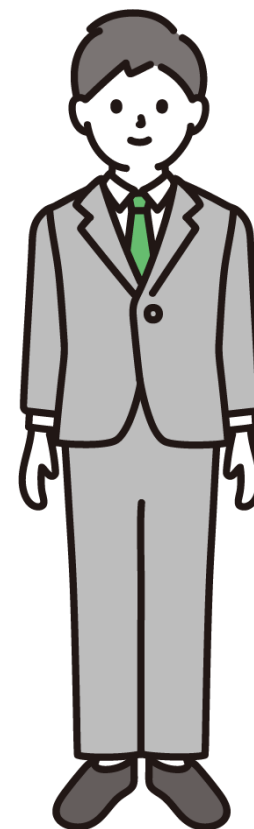


着物を着なくてはならないというルールはありません。
洋服で出席する場合は、ポイントをおさえましょう！

服装のポイント（男性）

- ① 無地のスーツを着用
- ② 無地のネクタイを着用

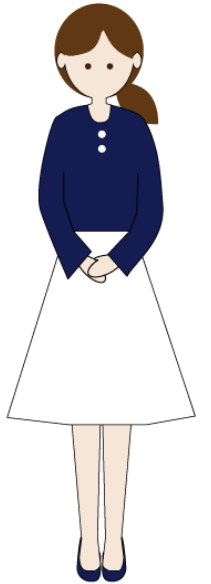
襟付きのシャツやブレザーでも可



服装のポイント（女性）

- ① パンツは避ける
- ② ヒールが高いもの、ブーツ、サンダルは避ける
- ③ 派手なマニキュアは避ける
- ④ 髪の毛はまとめる

ワンピースやブラウスと膝丈程度のスカートなどがおすすめです。
上品な服装を心がけましょう。



主な役職

- 亭主(ていしゅ)
茶会・茶事の主催者。
- 半東(はんとう)
亭主の補佐をする人。
- 正客(しょうきゃく)
お茶会に招かれたお客さんの代表で、最も上座に座る人。
以下、次客(じきゃく)、三客(さんきゃく)と続く。
- 連客(れんきゃく)
自分以外のお客さん。

茶会の流れ

茶会には種類が様々！

- ・立礼の茶会

正客が椅子に座って茶を点てる

- ・野点の茶会

野外で楽しむ茶。炉や風炉の区別にこだわることなく、持ち運びできるように茶道具を仕込んだ茶箱や茶籠を使うことも

- ・大寄せの茶会

広間など、大人数を対象として開催

①受付を済ませる

 会費が必要な場合もあるので注意。

②控えの部屋に入る

 足袋や靴下に履き替え、髪を結ぶなど身支度を整える。

③待合に入る

 床の間に掛け物や茶会記などがあれば拝見し、茶室に入るまで待機。



④茶席に入る

 床の間の花や掛け物を拝見する。茶室に入る前に正客を決め、正客は最初に茶室に入る。

⑤お点前が始まる

 お菓子とお抹茶をいただく。お菓子はお茶が出てくる前に食べ終わることができる。とよい。

⑥茶席を出る

 連客一同であいさつを交わし、待合ノートに感想を書く。

お茶会でのマナー

- 茶室には座って入る。
→ 茶室に入る前に襖や障子の前に立って、開けてから入る。
- 畳のへりは踏まない。
→ 入り口の敷居や畳のへりは踏まないように歩く。
- 拝見は座って行い、飾ってあるものは勝手に触らない。



主菓子の取り方・食べ方



○主菓子の取り方

- 1 お菓子をとる前に下座に座っている方に「お先に」や「お先に頂戴します」と言って一礼します。
- 2 懐紙を自分の前において菓子器に添えられた菓子箸を使って右側に近い方のお菓子から取ります。
- 3 お菓子を懐の上に乗せます。
- 4 懐紙の右上を少し折り、菓子箸の先を拭い、菓子箸を菓子器の上に返して次のお客様に譲ります。

○主菓子の食べ方

- ・薄茶の場合はお菓子を取ったらすぐに一口大に切っていただきます。
- ・濃茶の場合はお客様が全員お菓子を取ったタイミングでお正客様の「ではご一緒にいただきますしょう」という合図で、全員同時に頂きます。

お菓子の取り方・食べ方 ～干菓子～

1. 正客は、亭主より「お菓子をどうぞ」とすすめられたら、これを受け一礼し、次客に「お先に」と言い、次礼します。
2. 両手で干菓子器をおしいただき(頭を少しだけ下げ、両手で10cmほど器を持ち上げ)、縁外正面に置きます。
3. 懐紙を出し縁内膝前に置き、左手を菓子器に添えて、右手でお菓子を取り自分の目の前においた懐紙の上に乗せます。
4. 菓子器を両手で縁外送りで次客に送り、懐紙ごと手に取り、お菓子をいただきます。干菓子は菓子切は用いず手を使いただきます。

お茶の飲み方 ～薄茶の呼吸～

今回は正客の作法を紹介しますが
次客以下の作法も基本は同じです



- 壺ノ型 お茶が出されたら右手で縁内^{へりうち}に取り込み、自分と次客（自分の隣に座っている人）の間において
「お先に」と礼をする
- 式ノ型 右手で茶碗を自分の膝前に置いて、亭主（お茶を点てた人）に「お点前ちょうだいいたします」と挨拶する

参ノ型 右手で茶碗を取り、左手の平に乗せて感謝の気持ちを込めておしいただく

肆ノ型 左手の平にある茶碗を時計回りに二回まわして正面を避けてお茶をいただく



“おしいただく”ってなんですか？

“おしいただく”とは「ものを目より高くささげて持つ」という意味。お茶をいただく時は頭を少し下げてお茶碗を軽く持ち上げるだけでOK



伍ノ型 「ズズッ」と音をならして吸いきり、飲み
終わったら飲み口を指で清める。
その指は懐紙で拭う

陸ノ型 茶碗を反時計回りに二回まわして自分に正面が向
くようにし右手で縁外に置いてい茶碗を拝見する

以上が薄茶を飲む手順になります
そして縁外に出したお茶碗をこの後拝見し
ます



Next 利休's Hint! はいけん

拝見の仕方

先程^{へりそと}縁外に置いたお茶碗を拝見します

壺 膝前に両手をついて全体を拝見する

式 膝に肘をついて両手で持って細部を拝見する
その際自分が動いて見るのではなくお茶碗を動かす

参 もう一度両手をついて全体を拝見する

肆 茶碗の正面が相手に向くようにお茶碗を時計回りに
二回まわして縁外に置く

拝見する時は全体の形や外側の柄や見込みを見てみると良いでしょう



お茶会の種類

- 立礼の茶会

主客が椅子に座って、茶を点てる。

- 野点の茶会

野外で楽しむ茶である。

- 大寄せの茶会

広間などで、大人数を対象として開催される。

おしゃれなお茶会も...！

四季折々なお茶菓子やお抹茶が
楽しめます！！



引用:Instagram kyoro_mari_ono

主菓子（おもがし）

菓子はお茶をおいしくいただくために出されるものです。

大きく分けて主菓子と干菓子の二種類があり、**濃茶の席**では主菓子が出されます。

正式には、きんとんや練りきりといった上生菓子が主菓子にあたります。



練りきり 青梅

干菓子（ひがし）

干菓子は主に薄茶の席で出される、水分の少ない日持ちがするお菓子です。その季節ならではの情緒を茶席にもたらししてくれます。

干菓子の種類

- ・ 打ち物：落雁や雲平など。
- ・ 押し物：村雨や塩釜など。
- ・ 掛け物：金平糖や砂糖漬など。
- ・ 飴菓子：有平糖や翁飴など。
- ・ 種物：麩焼煎餅やそぎ種など。
- ・ 半生菓子：州浜や干琥珀、寒冰など。



落雁